

オリガミアンだより

第56号

2021年10月1日発行

9月に引き続き「おりがみ手品」シリーズをお楽しみください

PH P
これがタネ本です。小林 一夫著



兵庫県でもコロナの緊急事態宣言が9月30日に解除されました。まだまだ油断は出来ませんが、これからは感染対策をより徹底しながら教室を続けていただきたいと思います。

「オリガミアンだより」第55号でもお知らせしましたように「わ」のホームページ閲覧数で「オリガミアン」はいきなりトップグループに躍り出ました。こういう時代だからこそ望まれていると言えましょうか、関心の高さがひしひしと伝わってきます。体験教室への参加者が始めるなど何か空気が変わり始めているような気がします。常に気持ちを前向きに頑張っていきましょう。

9月の「コインが消える箱」の評判はいかがだったでしょうか。10月も『おりがみ手品』＝写真＝から「宙がえり馬」と「二つの輪」を取り上げます。お楽しみに。

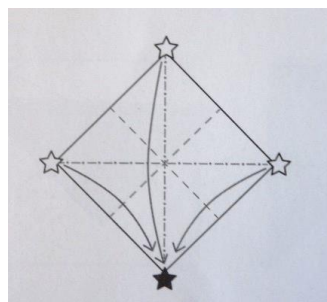
宙がえり馬

ペガサスも視野に

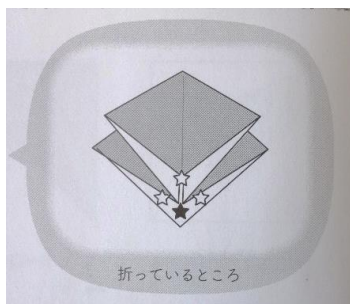


宙がえり馬自体は簡単です。しっぽをポンとはじくと宙がえりしてピシッと着地＝左の写真＝します。動きがあるので、お孫さんたちと楽しんでください。

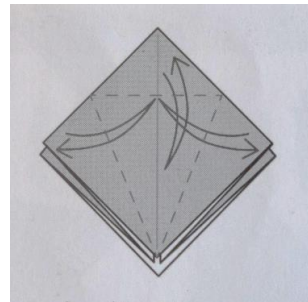
この作品を取り上げたのにはもう一つ意図があります。このお馬さんに羽をつけて「ペガサス」に出来ないでしょうか。1枚の紙で「ペガサス」を折れないことはなく、実際に折り図も公開されています。ただ80工程くらいあり、実に複雑です。手っ取り早くしようと思うと、これまでに習った「金の孔雀」などの羽を馬の両側から貼り付けるくらいしか思い当たりません。どなたか「簡易型ペガサス」づくりにチャレンジしていただけないでしょうか。「ペガサス」を作る場合は本体も羽根も白っぽい方がきれいです。



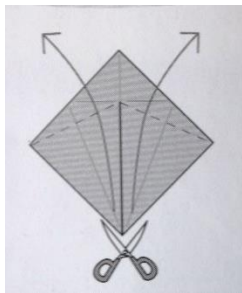
図のように折り筋をつけて★が★に合うように折る



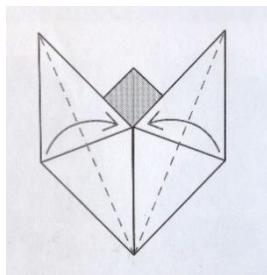
折っているところ



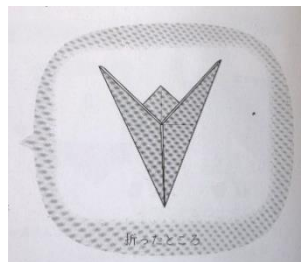
図のように折り筋をつける



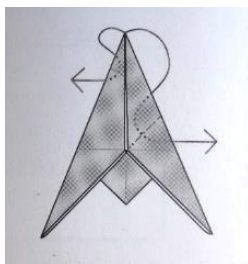
上の1枚の真ん中の線の一つ前の図でできた折り筋まで切り込み、左右を図のように折る。裏側も同じように折る



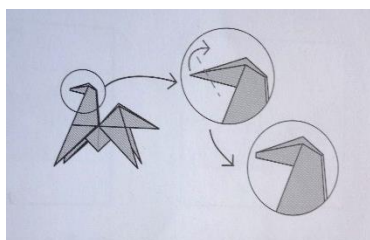
真ん中に合わせて図のように折る。裏側も同じ。向きを変える



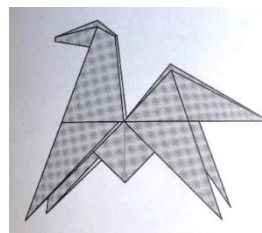
折ったところ



図の2カ所を中割り折りする



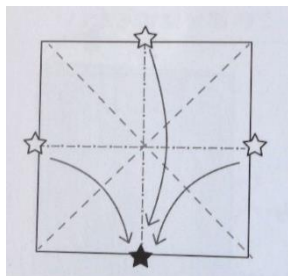
鼻先を図のように中割り折りする



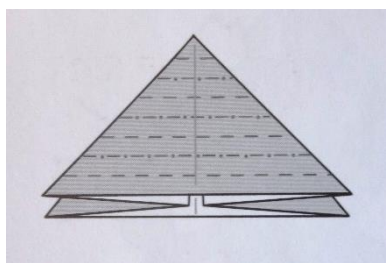
完成した馬を平らな所に立たせる。尻尾の下に指を入れて、尻尾を跳ね上げる

二つの輪（と思ったら）

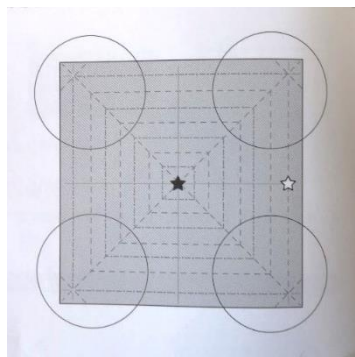
結婚式の披露宴でも使いました



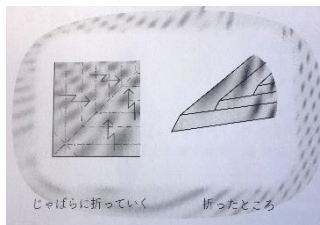
図のように折り筋をつけて、☆が☆に合うように折る



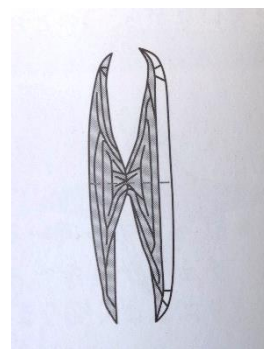
図のように8等分の折り筋をつけてから開く



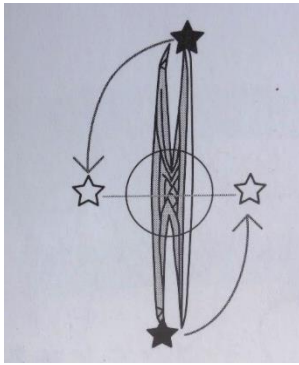
図のように折り線をつけ直してから☆を谷折りし、そのまま大きい○から中心に向かって蛇腹に折る。中心の★部分は沈めるように折る



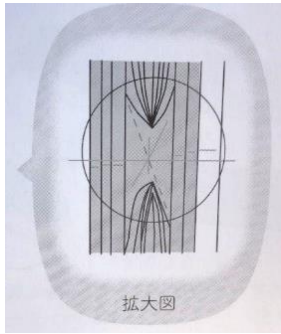
蛇腹に折っていく。右図は折ったところ



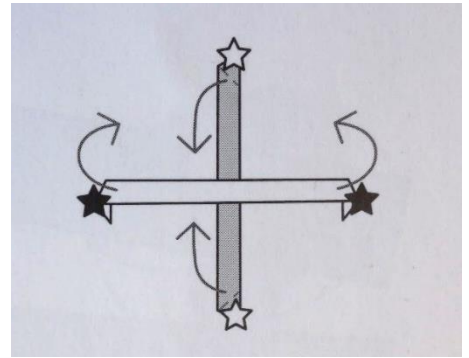
残り3カ所も同じように折る



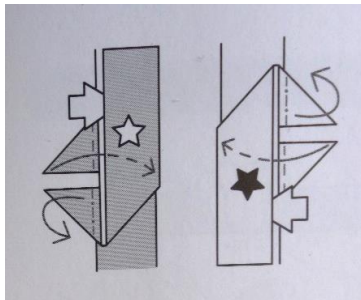
たたら大きな○部分を斜めに折り、★が★に合うように十文字にする



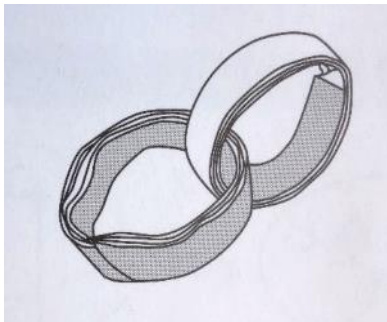
拡大図



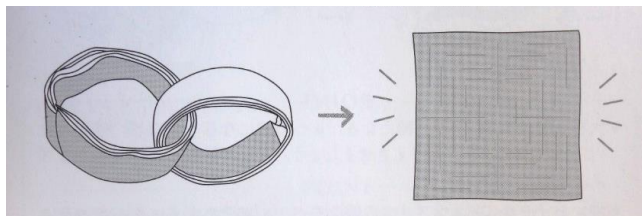
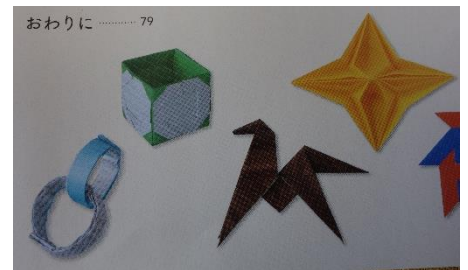
★部分は谷折りしてから、★と★を合わせる。★と★も同じように合わせる



★と★を図のように重ねて、三角部分を相手側のポケットに差しこむ。★と★も同じようにする。中央を持って十文字をひねって開く



2つの輪ができる



「2つの輪があります」と言って、しっかり見せる。素早く開いて「なんと1枚の紙になりました」。結婚式の披露宴では「二人は実はこのように最初からしっかり結びついていました」などとスピーチする

ゆしまの小林・小林一夫社長から感謝の言葉届く

この「オリガミアンだより」第56号を編集の10月1日朝、東京の「ゆしまの小林・小林一夫社長」からメールが届きました。私たち「オリガミアン」クラブは9月下旬から「コインが消える箱」を練習中で、この10月5日には「宙がえり馬」「2つの輪と思ったら」をテーマに取り上げますが、この作品を載せている『おりがみ手品』の著者・小林社長です。全くの偶然ですが、うれしいですね。以下、小林社長からのメールをご紹介します。

「週刊新潮に掲載有難うございました。お陰様で、『折紙の文化史』が認められ、11月に特派員協会（新東京会館ビル）にて講演することが決まりました。一昨日、サライ新年号にて朝食自慢のコーナーにて取材。昨日は外務省の海外向けビデオにて、染色、木版、作品、千代紙などと、「文化史」や1週間前の新刊本も取材され、今月14日のフランス婦人会レクチャーも紹介されます。皆様のおかげと感謝しています。」

編集：「オリガミアン」代表 熊谷信哉